▲験活動参加型+講演会型+在宅取り組み型(小学校)

学 校 名	神戸町立下宮小学校
実 施 日 時	平成28年度11月29日(火)~
会場	各家庭(実践)→学校(文集にして各家庭に配布)
参加人数	154名(全児童)・112名(全保護者)
学習課題(分野)	文集作成(親子読書)
運営者の願い	下宮小学校では朝の読み聞かせに加え、ビブリオバトル、春と秋の読書週間、もみじ祭りや図書館の本を充実させる等、本にたくさん携わってきています。家庭教育学級においても読書を取り入れ、親子読書などで同じ時間を過ごし、家族のふれあいを深めていければと思いました。

学習の内容

<文集作成の取組について>

今年度の文集のテーマは、「ぼくのわたしの心に残った思い出の本」です。

取り組み方法としては、

- ①親子で読書をしたり、本を選んだりする。
- ②本を選んだ理由、内容や感想等を親子で一緒に考え、原稿用紙 に記入する。

先生方、PTA会長にも協力していただき、お薦めの本や本に 対する思いを書いていただきました。



<文集依頼の文書と原稿の配布>

1 1 月 2 9 日 (火) に母親委員会から各家庭に文集の実施とテーマの説明・協力を依頼す る文書と記入する原稿を配布しました。

原稿用紙はわかりやすさと統一感を持たせる為、学年ごとに様式を区別し作成しました。

<原稿用紙の編集・確認>

原稿用紙を回収後、原稿のチェックをし、学年ごとにまとめ、一冊の本に仕上げました

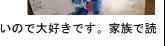
<本の読み聞かせについて>

保護者とボランティアさんによる朝の読み聞かせを、月1回実施しています。

子供たちは、この時間をとても楽しみにしています。読み聞かせを希望する保護者も増え てきました。今後も続けていきたい取り組みです。

く文集原稿より>

- ぼくは虫が大好きです。土の中のようすを見る事ができるのでおもしろいです。
 - (1年男子「地面の下のいきもの」)
- ・ おばあちゃんが買ってくれた本です。お気に入りの本です。 (2年女子「ミュウとゴロンとおにいちゃん」)
- 夏休みの読書感想文を書くのに何回も読んだ思い出の本です。 (2年男子「みずたまのたび」)



- マンガで書いてあるので読みやすくて、主人公がおもしろいので大好きです。家族で読 んでいます。(3年男子「どうくつのサバイバル」)
- お母さんが昔大好きだった本です。私も読んで大好きになりました。 (4年女子「こまったさんのハンバーグ」)
- 私が小さい頃大好きだった絵本です。いつも何度も読んでとせがんだそうです。今は私 が妹に読んであげています。(4年女子「うずらちゃんのかくれんぼ」)
- お母さんがよく読んでくれて思い出に残る本です。お父さん、お母さんの忙しさがわか る本なので大人になったらいかしたいと思います。(4年男子「からすのパンやさん」)
- ・私が小説を読むきっかけとなった本です。私に本のおもしろさを気づかせてくれました。 (5年女子「黒魔女さんが通る!!」)
- ・協力したり助け合ったりすることの大切さを感じました。(6年女子「十五少年漂流記」)



在宅取組型にすること で、各家庭のペースで取 り組むことができた。学 校側と同じ取り組みをす ることで、家庭での取組 がしやすくなった。親子 読書を通して家族の絆が 深まった事と思う。各家 庭でも本にたくさんふ れ、読書の楽しさや大切 さを知ってもらえること を願っている。